

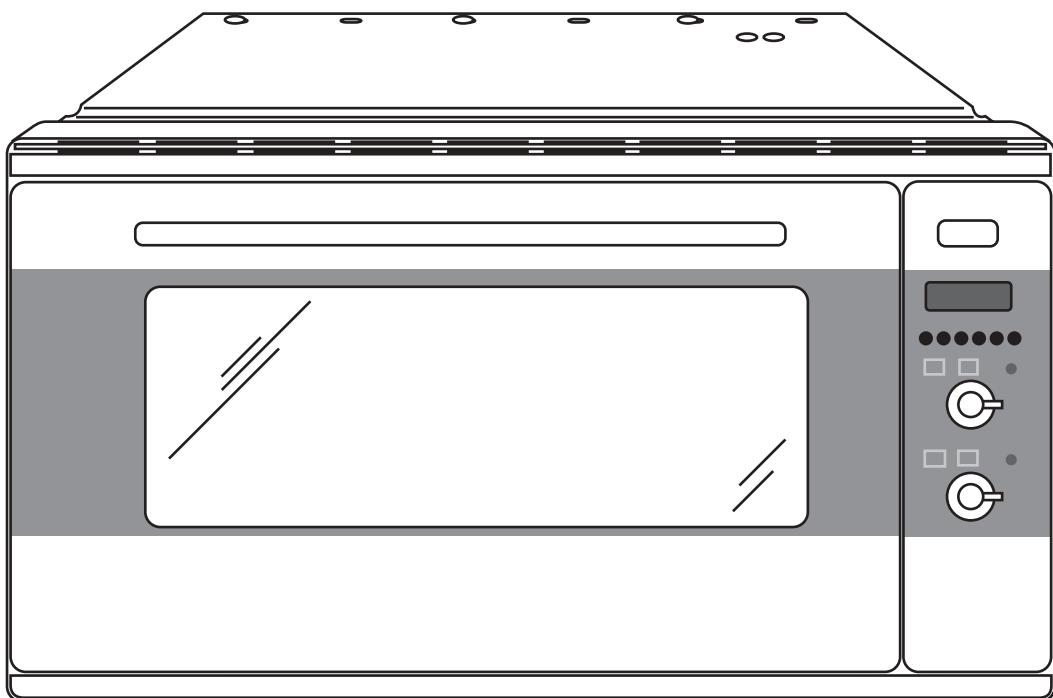
電気オーブン

IV - 948SMPI

据付工事説明書

もくじ

・工事される方へのお願い /	-----	1
据付工事後の点検確認 / 試運転 /		
お客様への取扱説明		
・安全上のご注意	-----	2 ~ 3
・製品寸法図	-----	4
・同梱部品の確認	-----	5
・据付け上のご注意	-----	6
・電気配線工事	-----	7
・機器据付けの手順	-----	8
・据付け後の点検・試運転・清掃	-----	9



工事される方へのお願い

- ・条件に外れて行われた据付けが原因で生じた故障および損傷は、保証期間内でも有料となります。
- ・本製品は一般家庭用です。使用頻度の高い業務用にご使用される場合は、安全確保のため、必ず定期点検（有料）を受けてください。
- ・機器を正しく安全にご使用していただくために、この「据付工事説明書」をよくお読みになって、指定された工事を行ってください。
- ・据付工事が終わったら、「据付工事後の点検確認」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- ・この「据付工事説明書」は必ずお客様にお渡しください。

据付工事後の点検確認

チェックリスト

点検項目	点 檢 内 容	参照ページ	チェック
機器 および その周辺	電 源	銘板は使用する電源（電圧・周波数）に適合していますか。	3
	同梱部品	正しく取付けられていますか。また不足はありませんか。	5
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	6
	設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	6
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	6
	水平設置	水平に設置されていますか。	3
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	3
	排気	十分排気できる場所に設置されていますか。	3
	電気工事	電源コンセントは専用回路になっていますか。 アース工事はされましたか。	7
その他	オーブン庫内に同梱物が残っていませんか。		

試運転

- 1 取扱説明書の「使い方」に基づいて、試運転を行ってください。
- 2 試運転が終了した後、長期間使用しない時は、電源（ブレーカーなど）を切ってください。

お客様への取扱説明

- 1 取扱説明書によって、機器の取り扱いをお客様に説明してください。
- 2 取扱説明書に記載されている保証書に必要事項を記入の上、据付工事説明書と併せて、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

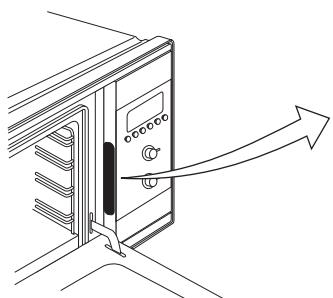
お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

建築基準法、消防法、各都市の市条例、電気設備技術基準などに従ってください。  上記に従わないと、不備により火災などの原因になります。	この「据付工事説明書」に従って、有資格者による正しい工事を行ってください。  有資格者以外のもとでの工事は、不備により機器の故障や火災の原因になります。
アースを確実にとってください。  取付けないで使用すると、故障や漏電の時に感電する恐れがあります。	電源は専用のコンセントを設けてください。  他の器具と共にすると、過熱し、火災の原因になります。
同一回線でトースターや電気炊飯器などの電熱器を同時に使用しないでください。また電気容量は15Aにしてください。  他の器具と一緒に使用したり、電気容量が15A以下を使用すると、過熱し、火災の原因になります。	工事完了後は、この「据付工事説明書」と「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。  「据付工事説明書」通り据付けられているか、また機器の正しい使用方法がわからなくなります。

必ず銘板に表示されている電源（電圧・周波数）を使用してください。



単相 200V、50Hz の場合



銘板はオープンドアを開けた右側面に貼ってあります。

異なる電源を使用した場合、感電、火災、機器故障の原因になります。

⚠ 注意

機器本体がステンレストップや家具および家具の一部となる金属部に接触する場合は、接触面に絶縁テープを貼って絶縁処理を行ってください。



漏電が発生した場合、感電や火災の原因になります。（電気設備技術基準182条により義務づけられています。）

シンナー、ベンジン、灯油、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しないでください。



火災の原因になります。

設置する部屋には必ず排気口を設けてください。



十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼や火災の原因になります。

丈夫で水平な場所に設置してください。



異常燃焼の原因になります。
床が抜けて、ケガや火災、機器故障の原因になります。

落下物の危険のある場所および、樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。



火災の原因になります。

水のかかる場所には設置しないでください。



ガラスの破損や、ケガ、漏電による感電の原因になります。

車両・船舶への設置はしないでください。

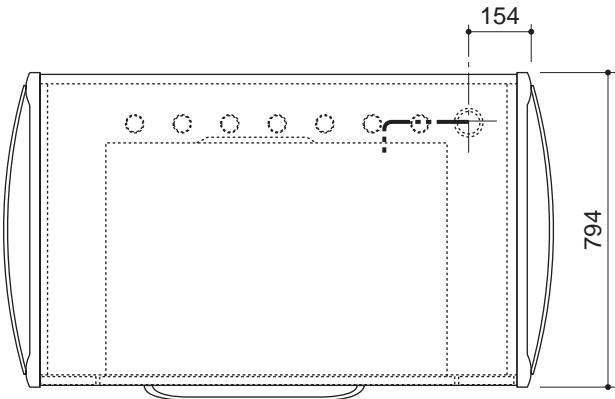


振動により機器が転倒して、火災や機器故障の原因になります。

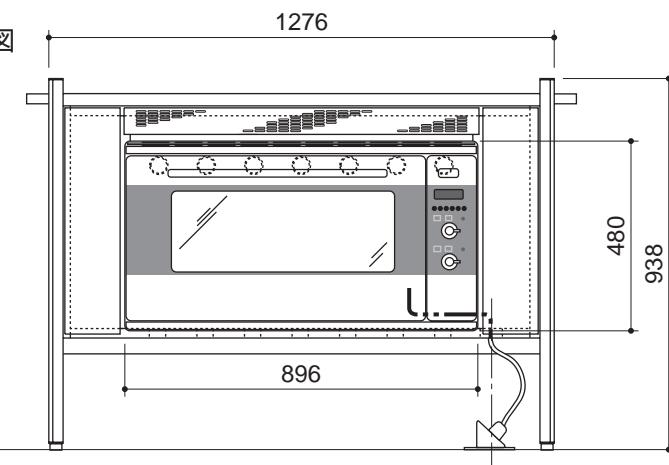
製品寸法図

床配線の場合

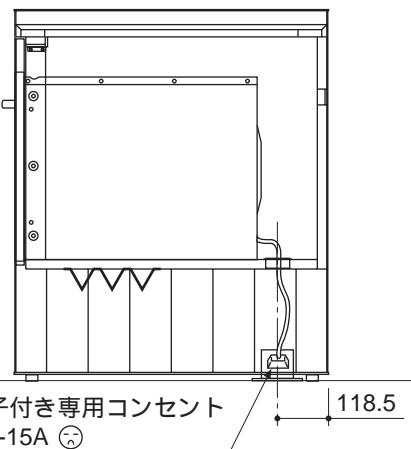
上面図



正面図

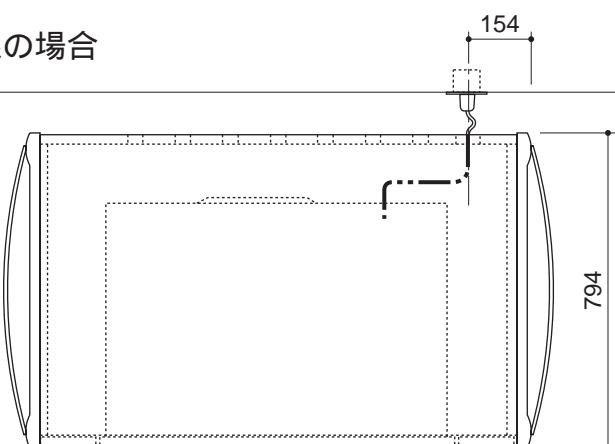


側面図

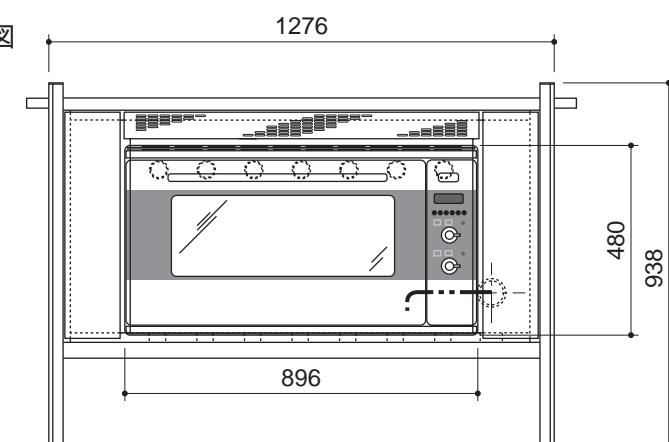


壁配線の場合

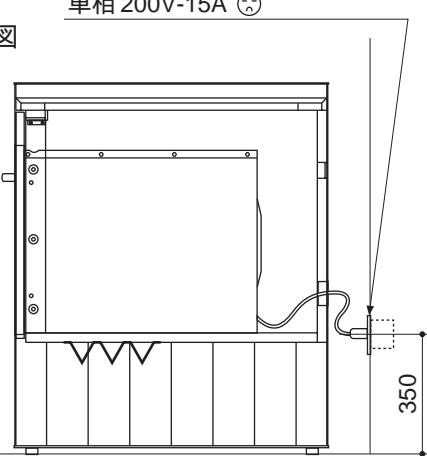
上面図



正面図

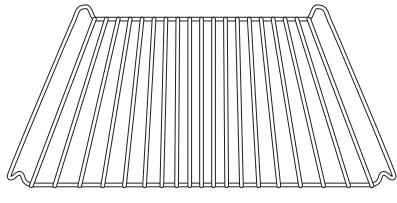
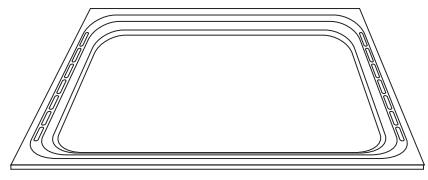
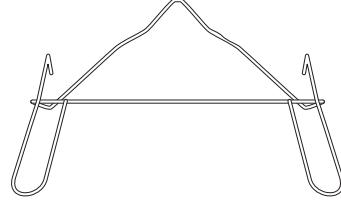
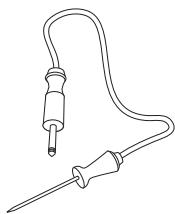
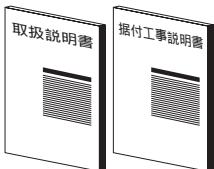


側面図



同梱部品の確認

下記の部品が同梱されています。不足していないか確認してください。

部品名・形状	数量	部品名・形状	数量
焼き網	2	回転串セット	1
		回転串用固定金具  樹脂把手 (片側仕様) (両側仕様) (片側仕様) 串	
オープン皿	1	串受け	1
			
オープンハンドル	1	串焼き把手	1
			
温度探知棒	1	取扱説明書 (保証書付) 据付工事説明書	各 1
			

据付け上のご注意

防火上の離隔距離

機器を据付ける周囲の壁などが、防火上安全な場所または、防火上有効な間隔を確認することができる場所に据付けてください。

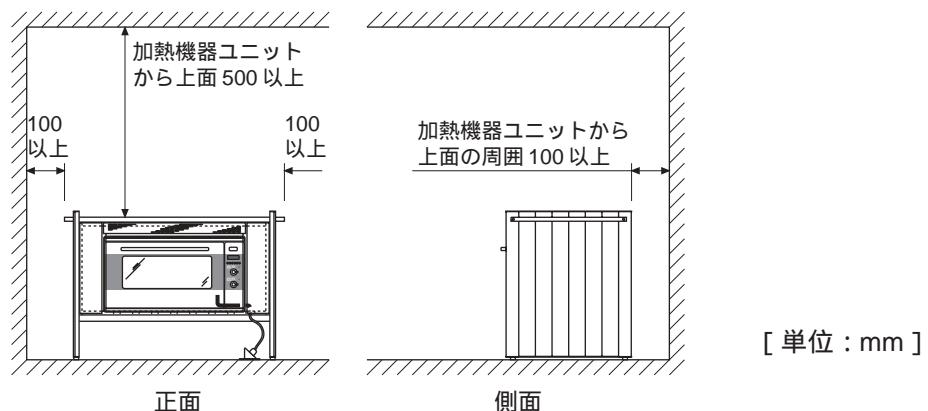
- ・燃焼機器を据付ける場合には、建築基準法や電気設備技術基準、火災予防条例などに定める防火処置を施す必要があります。
- ・この機器を据付ける台所が、建築基準法などに定める【内装制限を受ける調理室】に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。



周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認してください。



近すぎると壁などが異常に過熱され、発火・火災になる恐れがあります。



[単位 : mm]

- ・上図のように、機器と可燃材料、または不燃材料による仕上げをした建築物の部分などとの離隔距離をとる必要があります。
- ・加熱機器ユニットのハンドルから壁面までの間隔を 100mm 以上離してください。
- ・加熱機器ユニットの上面から天井までの間隔を 500mm 以上離してください。
- ・冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置しないでください。

電気配線工事

- ・電気配線については、電力会社の指定工事店にご相談ください。



警告

電源工事や据付工事は、「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」などに従つてください。



従わないと、不備により火災などの原因になります。

アースについて

- ・アースを取付けてお使いください。
- ・アースの取付けは販売店または、電気工事店にご相談ください。
- ・アース線は、ガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

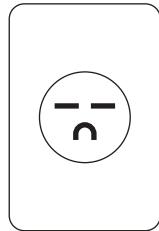
コンセント

- ・専用コンセントを設けてください。

電 源 : 単相 200V 50 / 60Hz 専用

消費電力 : 1900W

- ・この機器には、アース端子付単相 200V、15A 専用コンセントが必要です。

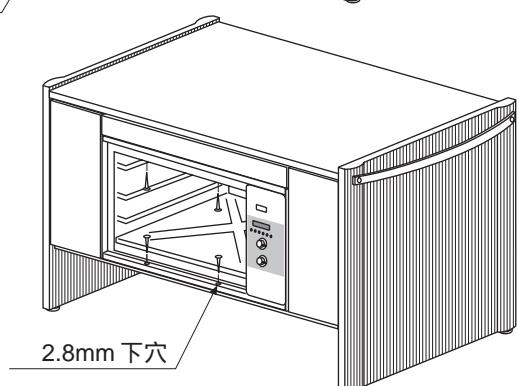
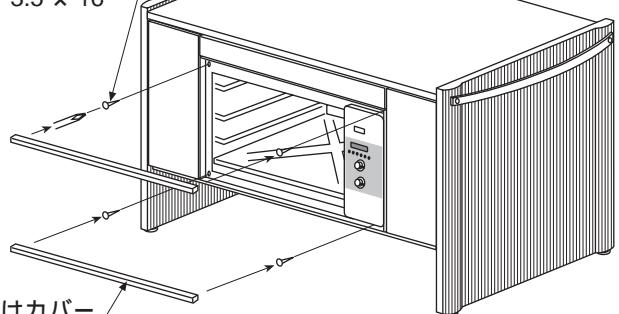
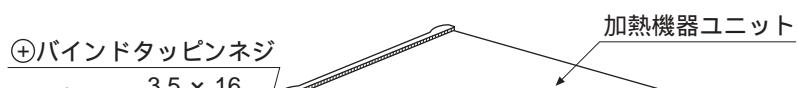


機器据付けの手順

- 1 加熱機器ユニットを指定の位置にセットします。
- 2 電気オーブンを加熱機器ユニット内にセットします。
 - ・電源プラグを専用のコンセントに差し込みます。
- 床配線の場合
 - ・加熱機器ユニットの底板にある配線孔キャップを外して電源プラグを通し、配線孔キャップをします。
- 壁配線の場合
 - ・加熱機器ユニットの背板にある配線孔キャップを外して電源プラグを通し、配線孔キャップをします。
- ・電気オーブンを加熱機器ユニットの正面から、底板の上を軽く滑らせる感じで、方立に機器本体が当たるまで押し込んでください。
配線コードが、機器と加熱機器ユニットの間に挟まらないように注意してください。

- 3 電気オーブンを加熱機器ユニットに固定します。

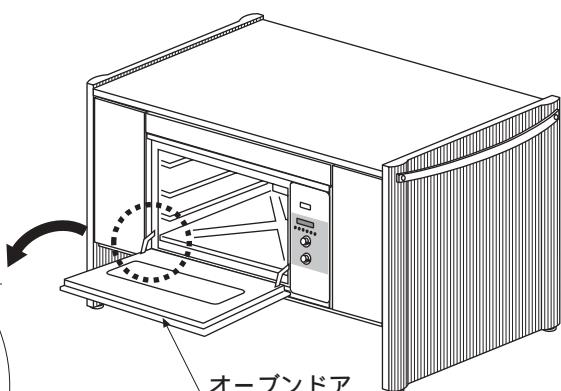
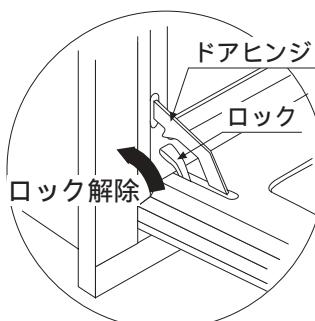
- ・電気オーブンのオープンドアを外します。
- ・上下の見付けカバーを外します。
(カバーは上下共2本のネジで固定してありますので、ネジを外すとカバーが外れます。)
- ・電気オーブンを加熱機器ユニットに固定する穴が4ヶ所ありますので、**④バインドタッピングネジ 3.5 × 16**にて固定してください。
(加熱機器ユニット側は角パイプなので、2.8mmの下穴を開けてからネジ止めしてください。)
- ・見付けカバーを取り付けます。
- ・電気オーブンのオープンドアを取付けます。



オープンドアの取り外し、取付け

取り外し方

- 1 オープンドアをいっぱいまで開けます。
- 2 ロックをオーブン側へ上げてロックを解除します。
- 3 オープンドアを少し閉めかけの状態にして、手前に引き、ドアヒンジを本体から抜きます。



取付けは、上記「取り外し方」の手順を逆から行ってください。

据付け後の点検・試運転・清掃

1 点検

「据付工事後の点検確認」のチェックリスト（1ページ）に従って、チェックしてください。

2 試運転

（1）取扱説明書の「使い方」に基づいて試運転を行ってください。

（2）試運転が終了した後、長期間使用しない時は、電源（ブレーカーなど）を切ってください。

3 清掃

表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷がないか調べてください。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「K-STORE」でオプションパーツや交換部品をご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トヨーキッチン&リビング株式会社

〒501-3295 岐阜県関市下有知6315-1
電話 0575(22)1234(代)



TOYO KITCHEN